



集合写真をドローンで撮影

現場見学実施

一関遊水地第1遊水地築堤工事

施工業者：株式会社いわい

一般社団法人 岩手県建設業協会の主催により、9月26日（木）に岩手県立一関工業高等学校による現場見学会が行われました。将来の建設業を担う土木科2年生31人が、一関遊水地事業の一関遊水地第1遊水地築堤工事を見学しました。この工事は、ICTを活用した工事で学生の皆さんは熱心に説明を聞いていました。

工事現場内のICT（情報通信技術）施工の流れを見学（従来と情報化したときの流れを比較）

ドローンやレーザースキャナで事前測量



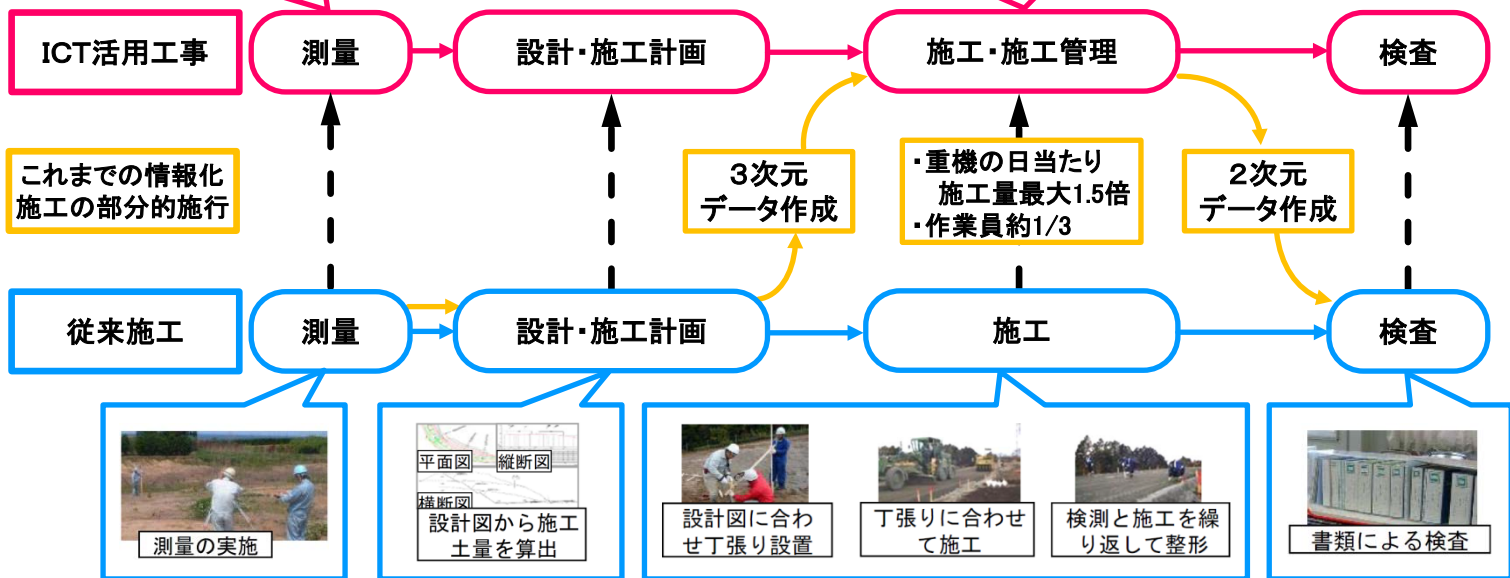
ドローン等による写真測量等により、短時間で面的（高密度）な3次元測量を実施。

ICT建設機械による施工



3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(*)を実施。

*IoT(Internet of Things)とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。



ICT活用工事とは、起工測量・施工・出来形管理・検査及び工事完成図や施工管理の記録について3次元データを活用して行う工事で、国土交通省が提唱する「i-Construction」に基づき、ICTを全面的に活用して現場のプロセスの最適化する取り組みです。

※ICT活用工事について詳しく知りたい方はこちらをクリックしてください。→ [i-Construction](#)

編集後記

二十四節季の七十二候によると、10/3~10/7頃は「水始涸」で「田の水を落として、稲穂の刈り入れを始める頃」とのこと。遊水地内も黄金色に染まり、その景色は、とても綺麗です♪(や)